

令和8（2026）年度 窓口登録の対象科目・対象者一覧

次の「対象科目」、「対象者」は、履修登録期間中に MUSCAT からの履修登録ではなく、履修登録申請書にて手続きを行う必要があります。対象の方は、以下どちらかの方法で手続きを行ってください。

なお、履修登録申請書で追加した科目を削除する場合も、履修登録申請書を提出する必要があります。

【メールでの手続き※】履修登録申請書を rishu@musashino-u.ac.jp へ送信

【窓口での手続き※】学務課、もしくは武蔵野学務課窓口にて履修登録申請書を提出

※履修登録期間中の9：00-17：00にお手続きください。

対象科目

<学部科目>

No.	区分	対象科目
1	再履修	卒業留年生が、単位修得済の科目を再履修する場合
2		社会福祉学科の学生が、実習履修要件または実習履修要項に定める科目を評価改善のために再履修する場合
3		グローバルビジネス学科の学生が「基礎日本語1A-1H」を再履修する場合
4		2024年度以前に入学した日本語コミュニケーション学科の学生が「日本語教授法概論A-D」を再履修する場合 ※日本語教員養成課程を希望する学生で当該科目がC評価の場合のみ
5		第二外国語として以下の科目の内、いずれか一方のみを再履修する場合 ・2020年度以前入学生は、「外国語1A」または「外国語1B」 ・2021年度以降入学生は、「外国語基礎1」または「外国語基礎2」
6		グローバル学部以外の留学生または日本語を母語としない学生が以下の科目の内、いずれか一方のみを再履修する場合 ・日本語発展Aまたは日本語発展B ・日本語発展Cまたは日本語発展D
7		全員留学に行くグローバルコミュニケーション学科の学生がクラス指定のないINITIAL必修科目を再履修する場合（後期に開講される講義のみ）
8		全員留学に行くグローバルコミュニケーション学科が事前に履修登録されているINITIAL必修科目の再履修を今年度希望しない場合（削除の申請）
9		副専攻(AI活用エキスパートコース)の履修が許可された学生の内、以下のいずれかに該当する場合 ・「機械学習活用1」と「機械学習活用2」のどちらか一方を再履修する場合。 ・「データサイエンス活用1」と「データサイエンス活用2」のどちらか一方を再履修する場合
10	BASIS科目	2020年度以前に入学した建築デザイン学科の学生が、「発展セルフディベロップメント科目群」の科目を履修する場合（事前にアドバイザーの許可が必要）
11		2020年度以前に入学した薬学部および看護学部の学生が、薬学部及び看護学部以外の学部・学科で開講されている「発展セルフディベロップメント科目群」の科目を履修する場合
12		第二外国語として以下の履修を希望する場合 ・2020年度以前入学生 → 「外国語1A」を修得済で、「外国語1B」の履修を希望する学生 → 「外国語1B」を修得済で、「外国語1A」の履修を希望する学生
13		2020年度以前に入学した薬学部の学生が、第二外国語として以下の履修を希望する場合 ・中国語3A ・フランス語3A
14		2016年度入学の薬学科の学生が武蔵野BASIS科目の履修を希望する場合
15	INITIAL科目	第二外国語として以下の履修を希望する場合 ・2021年度以降入学生 → 「外国語基礎1」を修得済で、「外国語基礎2」の履修を希望する学生 → 「外国語基礎2」を修得済で、「外国語基礎1」の履修を希望する学生
16		全員留学に行くグローバルコミュニケーション学科の学生の内、副専攻(AI活用エキスパートコース)の科目を履修する場合

17		SDGs基礎[再履修クラス]に履修登録されている学生の内、学科必修科目や資格課程との時間割重複により、他のクラスに変更を希望する場合
18		ウェルビーイング学部の2年次編入生が、1学期訂正登録期間以降に以下の履修を希望する場合 ・【対象科目】アカデミック・ライティング/英語基礎C/SDGs発展1/ SDGs発展2/ SDGs発展3
19	BASIS科目 /INITIAL科	第二外国語の発展科目および総合科目において、履修条件を満たしていないが特別に教員から履修を許可された場合
20	目共通	留学生以外の、日本語を母語としない学生が日本語・日本事情科目の履修を希望する場合
21	教職 科目	1学期訂正登録期間以降に後期科目等の履修を希望する場合（履修登録のスケジュールに基づく） ※ただし、教職課程費の納入を確認できた学生に限る
22	司書 司書教諭 科目	1学期訂正登録期間以降に後期科目等の履修を希望する場合（履修登録のスケジュールに基づく） ※ただし、資格課程費の納入を確認できた学生に限る
23		グローバルコミュニケーション学科の日本語履修者で「中国研究(文化文学)初級A-B」「中国研究(文化文学)中級A-D」の履修を希望する場合 ※履修には欒先生の許可が必要です ※「中国研究(文化文学)中級A-D」は後期の履修登録期間のみ申請可能
24		2021年度以前入学生が他学部・他学科履修許可科目の履修を希望する場合
25	学科	政治学科科目「地方政府研究1-2」の内、どちらかの科目をすでに修得しており、もう一方の科目を履修する場合
26	科目	建築デザイン学科の学生が、他学部・他学科履修許可科目を履修する場合 （事前にアドバイザーの許可が必要）
27		人間科学科科目「社会福祉の原理と政策Ⅰ・Ⅱ」の内、どちらかの科目をすでに修得しており、もう一方の科目を履修する場合
28		2016年度入学の薬学科の学生が学科選択科目の履修を希望する場合
29		教育学科科目「書道科指導法B」（後期）、「書道科教育法」（3学期）を前期履修登録期間以外で履修登録する場合（基本的には、前期履修登録期間中に履修登録をすること）

<大学院科目>

No.	対象科目
1	大学院生が、学部の科目を履修する場合（履修可否について研究科への確認が必要となるため、まずは学務課・武蔵野学務課に要相談）
2	博士後期課程の学生が所属研究科の修士課程の開講科目を履修する場合（指導教員の許可必須）

対象者

No.	対象者
1	学部・修士課程 5年一貫プログラムの修士1年生 ・経営学研究科会計学専攻 ・社会研究科人間学専攻人間行動学コース ・工学研究科建築デザイン専攻 / 数理工学専攻 ・データサイエンス研究科データサイエンス専攻 ・法学研究科ビジネス法務専攻
2	2017年度以前に入学した学生（薬学部以外の学部生）
3	国際データサイエンス学部データサイエンス学科の3・4年次編入生（入学年度のみ） ※専用の履修登録申請書で提出する必要があります。
4	ウェルビーイング学部の2年次編入生（入学年度のみ。前期履修登録期間（4/7, 8, 11）は全科目において窓口登録の対象。1学期訂正登録期間以降は原則MUSCATから追加・削除） ※初回のみ専用の履修登録申請書で提出する必要があります。対象者にはMUSCATで掲示します。

※ 上記内容に変更・追加が生じる場合は、随時 MUSCAT にてお知らせします。